

お赤飯で給食に彩り

1月17日、安下庄小学校の給食に赤飯が並びました。これは旧町名の橘町が縁で交流を続けている、佐賀県武雄市橘小学校の5年生から届けられたもち米で炊いたもの。橘小学校からは毎年夏に6年生が周防大島町を訪れ、カヌーや地引網の体験、小学生同士の交流を行っています。

いつものご飯より粘り気のあるおこわを盛り付けるのに苦労したようですが、子ども達は赤飯の給食をおいしそうに食べていました。



人権教育推進大会を開催



1月25日、大島文化センターで人権教育推進大会が開催されました。明新小学校ユーカリバンドの金管演奏で幕を開け、標語やポスターなど人権教育啓発作品の優秀作が表彰されました。山口県立大学准教授のJ・A・T・D・にしゃんたさんが「多文化共生〈新〉時代 みんな地球家族」と題して講演。スリランカ出身のにしゃんたさんは、国や民族にとらわれない生き方や考え方の必要性についてユーモアたっぷりに話し、参加した人は熱心に聴き入っていました。



にしゃんたさんは、国や民族にとらわれない生き方や考え方の必要性についてユーモアたっぷりに話し、参加した人は熱心に聴き入っていました。

アロハ音楽祭で南国気分



ハワイ移民を多く送り出し、カウアイ島との姉妹島縁組などで交流が深い周防大島をアピールしようと1月27日、第1回アロハ音楽祭が大島文化センターで開催されました。日本ハワイ移民資料館を管理する大島国際交流協会が企画したもので、フラダンスやハワイアンバンド、和楽器のグループなどが出演。真冬の周防大島がハワイアンムードに包まれました。